

学校を支援してくださる方々

1学期も明日で終わりです。それぞれの学年で充実した学習活動が進められました。子どもたちの成長もこの目で確かめることができました。これもひとえに保護者・地域の皆様にご理解とご支援をいただいたお陰です。ありがとうございます。

遅ればせながら、この1学期にお世話になった方々や各種団体様をご紹介させていただきます。

★交通指導員、PTA、地域の有志の方々に定期的に交通指導・見守り活動をしていただいています。

★民生委員、婦人会の皆様に定期的にあいさつ運動や見守り活動をしていただいています。

★多良木ロータリークラブ様から図書カード4万円分を寄贈いただきました。読書活動の充実に使わせていただきます。(5/27)

★JA壮青年部の皆様のご支援をいただき、1・2年生がさつま芋を植えました。一人一人にジュースもいただきました。秋の芋掘りが楽しみです。(6/8)

★錦ライオンズクラブ様から、金一封を寄贈いただきました。学習活動の充実に使わせていただきます。(6/25)

★3年生が社会科で、ハムのおねざわ様を見学しました。食品の製造工程等についての学習が深まりました。(7/8)

★老人会様から、新品のタオルをたくさんいただきました。たいへん重宝しています。(7/13)

※紙面の都合により、十分にご紹介できませんことをお詫びいたします。

夏休みも「命を大切に」

夏休みには、子どもたちがけがや病気をしたり事件に巻き込まれたりしませんように、2学期の始業式の日には全員元気で登校できますように、というのが一番の願いです。新型コロナウイルスもまだまだ油断できません。健康や安全について、ご家庭でのご指導もよろしく願います。

本年度のスタートにあたり、「命を大切に」という話をしましたが、夏休み中もやっぱり「命を大切に」です。命を大切にすることは、「自分」「まわりの人」「生き物」「もの」を大切にすることです。

さて、1年生は初めての夏休み、2年生は2回目の夏休み、3年生は・・・6年生は6回目の夏休みを迎えます。それぞれの学年に応じて有意義な休みにしてほしいと思います。経験が多い分、学年が上がるにつれて、夏休みの終わり頃になって後悔することが減るような休みであるよう期待しています。

私は、夏休みを次の2つの場と考えています。

- ①学校生活では得られない体験の場、あるいは学校生活で得たことの確かめの場。
- ②異年齢等の交流を通して、社会性を育てる場。

といっても、旅行に連れて行かなければならないとか、催し物や買い物に連れて行かなければならないとかではありません。そうであればたいへんです。私は、「聞いたことは忘れる。見たことは覚えている。でも、

体験が一番！」だと考えています。最近、子どもの体験が不足しているとよく言われますが、夏休みは時間がたっぷりあります。たとえば、ちょっと早起きして、親子でベランダの鉢植えのアサガオの観察をする。自分の衣類は自分で洗濯して干させる。乾いたら自分で取り込んでたたむところまでさせる。夕食（朝食でも昼食でも構いません）を子どもに作ってもらって、「今日は○○ちゃんのお陰で楽ちゃん楽ちゃん。親孝行の日だね。助かるよ。」とか。

他にも小さい弟や妹のお世話や犬の散歩などなど、そんなことでもいいと思います。家業の手伝いもいいですね。

今なお続くコロナ禍のために、制限せざるを得ない場面もあると思いますが、子どもたちにいろいろなことを体験させてほしいと思うんです。子どもにやらせるとじれったくて、つつい手出し、口出しをしたくなりますが、そこは我慢。いろいろな体験をとおして、思いやりの心や感謝の心、奉仕の心、物を大切にすることなどが育ちます。それは、命を大切にすることにつながります。

命を大切に子どもを育てるには、毎日の生活がどうあったらいいか、どんなことを子どもがしてくれたらいいか・・・、親子で一緒に考えられる夏休みであればありがたいです。